

令和4年度事業報告

公益社団法人湯梨浜町シルバー人材センター

1. 概 要

湯梨浜町シルバー人材センターは令和3年4月に町当局の理解を得て旧羽合幼稚園園舎へ事務所を移転し、公益法人としての公益目的である、「高齢者福祉の増進」「勤労意欲のある人への就労支援」「地域社会の健全な発展に寄与する」ことなどを理念として着実に事業を継続実施してきました。

令和4年度においては、前年度の労働者派遣法改正による同一労働・同一賃金制度の導入に伴い対象業務撤退等による実績ダウンの状況から積極的な業務拡大を推進した結果、前年比大幅な増額の決算となりました。一方、一昨年から概ね3年間継続的にコロナウイルス感染による影響の心配もありましたが、令和4年度当シルバー人材センター業務は町当局や県立施設等をはじめとする公共施設の管理等の受注対策を重点的に行った結果大幅な業務の拡大となりました。また、一人暮らし高齢者や空家の増加に伴い、県外から等新規のお客様が拡大している傾向があり、下降気味であった民間関係受注も組織に対する信頼が受注を増やす結果となりました。

こうした状況下、次年度は会員の高齢化が進行する中で、新しい若手の会員獲得への一層の町民への周知に力を入れ、併せて新たな業種の掘り起こしを推進することで組織強化を推進することが課題となります。

次に、組織体制の充実では、町当局と連携する中で、会員増加に向けホームページやブログを活用し、町民の方々はもちろん町外の方にも情報を提供しながら業務を進めるとともに、広くなった新事務所を活用した地域住民の皆様との交流の場を計画していました。しかし、残念ながらコロナ感染拡大

により前年度同様開催することができませんでした。

しかし、定時総会は前年度2年連続の書面議決方式で開催しましたが、令和4年度は3年ぶりに会員出席のもとにリアル開催することが出来ました。併せて、県外視察研修は社会福祉協議会の協力でマイクロバスをお借りしてなんとか会員参加で実施でき、多少でも会員意識の向上及び福祉増進を図ることが出来ました。

次に、安全対策では県内で死亡事故が発生したこともあり、安全適正就業委員会での協議や連合会主催の研修等により継続的で有効な安全対策の徹底や安全パトロールの実施などに取り組み安全就業の向上を図りました。

また、地域貢献では、例年通り役場庁舎前庭清掃活動のボランティアに多くの会員の参加で実施出来ましたし、年末年始恒例の役場玄関への門松設置も例年通り実施出来ました。

こうした経過を受け、令和5年度はコロナ感染の終息を迎え、令和4年度実施出来なかった会員獲得に向けた広報活動や説明会の実施や新事務所のオープンスペースを活用した地域の皆様との交流会の開催する予定です。そして、今後のシルバー人材センター運営に大きく影響するインボイス制度導入に向けた対応等を最重要課題として取組む予定です。

以下、令和4年度の事業実施状況及び会議開催状況等について報告いたします。